

「女性座長候補者リスト作成後調査」結果報告

¹⁾日本泌尿器科学会ダイバーシティ推進委員会, ²⁾徳島大学泌尿器科,
³⁾済生会中和病院泌尿器科, ⁴⁾札幌医科大学泌尿器科, ⁵⁾横浜市立大学泌尿器科,
⁶⁾岡山医療センター泌尿器科, ⁷⁾済生会熊本病院泌尿器科, ⁸⁾徳島県立中央病院泌尿器科,
⁹⁾神戸大学腎泌尿器科, ¹⁰⁾名古屋大学泌尿器科, ¹¹⁾北海道大学腎泌尿器外科, ¹²⁾佐賀大学泌尿器科,
¹³⁾大阪母子医療センター泌尿器科, ¹⁴⁾東京女子医科大学足立医療センター骨盤底機能再建診療部,
¹⁵⁾大分大学腎泌尿器外科, ¹⁶⁾東京大学泌尿器科, ¹⁷⁾山形大学腎泌尿器外科

山本恭代^{1,2)} 松下千枝^{1,3)} 進藤哲哉^{1,4)} 篠木理沙^{1,5)} 窪田理沙^{1,6)} 濱崎和代^{1,7)}
塩崎啓登^{1,8)} 佐藤克哉^{1,9)} 松尾かずな^{1,10)} 樋口まどか^{1,11)} 川崎麻己^{1,12)} 松本富美^{1,13)}
木村友和^{1,10)} 前田佳子^{1,14)} 赤松秀輔^{1,10)} 秦 聡孝^{1,15)} 久米春喜^{1,16)} 土谷順彦^{1,17)}

(連絡先)

山本恭代 〒770-8503 徳島市蔵本町 3-8-15 徳島大学泌尿器科

E-mail : yasuyoyamamo@tokushima-u.ac.jp

緒言

日本泌尿器科学会ダイバーシティ推進委員会は、ポジティブ・アクションの一つとして総会や地区総会における女性座長比率を3%以上とすることを2021年に理事会に要望した。実現を目指して指導医資格を有する女性会員を対象に座長候補者リストへの掲載の諾否、専門分野、保有資格についてアンケート調査を行い、座長候補者リストを同年から2023年まで年に1回作成した。リストは各大会長に提出して活用を依頼した。リスト作成後に女性座長の登用率は上昇し、2023年にはすべての総会において3%以上を達成することができた。この取り組みについては、2023年7月発行の日本泌尿器科学会雑誌（Vol. 114, No. 3）、並びに日本泌尿器科学会ホームページ（https://www.urol.or.jp/lib/files/society/gender/chair_questionnaire_report_2023.pdf）に掲載している。座長候補者リスト作成後の振り返りと今後の委員会活動の方向性を検討するために座長候補者リスト登録のためのアンケート調査にご協力頂いた会員に事後アンケートを行ったので、その結果を報告する。

対象・方法

2024年1月、本委員会で「女性座長候補者リスト作成後アンケート」を作成した（補足資料：1）。2023年12月末時点でメールアドレスを登録している指導医資格を有する女性会員240名に対し学会事務局より同年1月17日、1月25日にメール配信し、Googleフォームのアンケートリンク先を周知した。回答期間は2024年1月17日から1月31日の15日間とした。101名（42.1%）からの回答を得た。尚、本アンケートは日本泌尿器科学会理事会の許可を得て行った。

結果

1) 女性座長候補者リスト掲載への諾否について

女性座長候補者リストへの掲載の承諾についての回答をFig. 1に示す。2021年から2023年までの3回のアンケート調査で「すべて諾」が49名（48.5%）、「拒否から承諾へと変更した」が1名（1.0%）、「承諾から拒否へと変更した」が2名（2.0%）、「すべて拒否」が19名（18.8%）、「回答しなかった」が30名（29.7%）であった。一度でも「拒否」と回答した医師の理由（複数回答）をTable 1に示す。「実力が伴わない」が16名（72.7%）、「経験がない」が13名（59.1%）、「性別による優遇を受けたくない」が8名（36.4%）、「多忙」が6名（27.3%）、「学会に興味がない」が2名（9.1%）、「体調による拒否」が2名（9.1%）であった。Table 2は回答しなかった理由（複数回答）である。「アンケートに気付かなかった」が15名（50%）、「アンケートに回答するのを忘れていた」が10名（33.3%）、「多忙」が9名（30%）、「経験不足」が8名（26.7%）、「性別による優遇を受けたくない」が3名（10%）、「その他」が6名（20%）であった。一度でも「承諾」と回答した理由（複数回答）をTable 3に示す。「ポジティブ・アクションに賛成」が33名（63.5%）、「経験値を上げたかった」が21名（40.4%）、「当然の実力を備えていると思った」が8名（15.4%）、「周囲から勧められた」が7名（13.5%）、「女性座長の増加により自分もできると思った」が6名（11.5%）、「その他」が6名（11.5%）であった。

Fig. 1

1. 女性座長候補者リストへの掲載への承諾はどう回答されましたか。

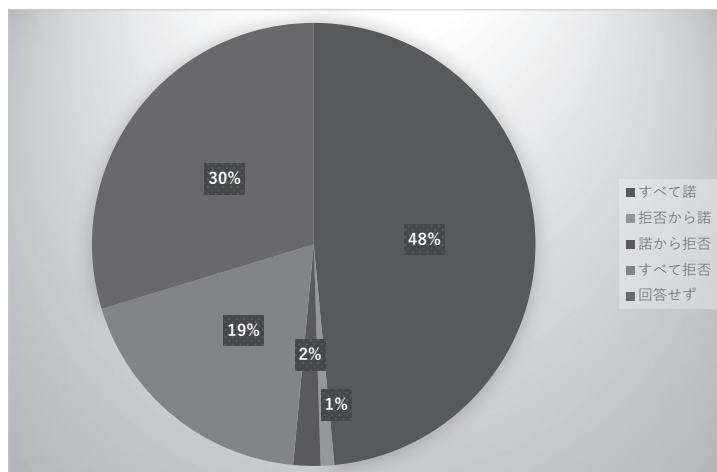


Table 1

2. 1. で (2), (3), (4) と答えた方に質問です。拒否の理由はどのようなものでしたか。(複数選択可)

理由	回答者数 (%)
実力が伴わない	16 (72.7)
経験がない	13 (59.1)
性別による優遇を受けたくない	8 (36.4)
多忙	6 (27.3)
学会に興味がない	2 (9.1)
体調	2 (9.1)
その他	3 (13.6)

その他

- ・すでに沢山経験させて頂いたので後輩をお願いします
- ・座長に向いていないと思うから
- ・とりあえず女性登用を数の上で増やすという考え方全般が不愉快

Table 2

3. 1. で (5) と答えた方に質問です。回答しなかった理由はどのようなものでしたか。(複数選択可)

理由	回答者数 (%)
アンケートに気付かなかった	15 (50)
アンケートに回答するのを忘れていた	10 (33.3)
多忙	9 (30)
経験不足	8 (26.7)
性別による優遇を受けたくない	3 (10)
その他	6 (20)

その他

- ・内容を知らなかった
- ・回答したか否か忘れた
- ・自分には関係ないと思っていた
- ・市中病院勤務のため、専門分野を考えたことがない
- ・性別による差別を受け、男性と同様の研修が受けられなかった。数値目標だけ掲げられても困る。学びなおすチャンスなどの救済もされないで、座長といわれても困る。

Table 3

4. 1. で (1), (2), (3) と答えた方に質問です。承諾の理由はどのようなものでしたか。(複数選択可)

理由	回答者数 (%)
ポジティブ・アクションに賛成	33 (63.5)
経験値を上げたかった	21 (40.4)
当然の実力を備えていると思った	8 (15.4)
周囲から勧められた	7 (13.5)
女性座長の増加により自分もできると思った	6 (11.5)
その他	6 (11.5)

その他

- ・年齢を重ねてからは座長依頼が来て、疑問なく受けてきた
- ・後進の育成のためにも女性が普通に仕事する姿を見せることが必要と感じたため
- ・後進の先生方のためにも引き受けないわけにはいかない。
- ・女性泌尿器科医全体のボトムアップになればと思った
- ・立場上やむを得ず、これから先の女性医師のため、ポジティブ・アクションを盛り上げるのだけは嫌だった。

2) 実際の座長依頼について

女性座長候補者リスト掲載者に対しての座長依頼の状況について、Fig. 2A, 2B, 2C に示す。Fig. 2A は座長依頼の有無についてであるが、「有」は 55 名 (54.5%)、「無」は 46 名 (45.5%) であった。「有」のうち、候補者リスト掲載アンケートで拒否もしくは回答していなかったのは 11 名であった。Fig. 2B は座長依頼の諾否についてであるが、座長依頼があった 55 名中「承諾」が 52 名 (94.5%)、「不承諾」が 2 名 (3.6%)、「無回答」が 1 名 (1.8%) であった。座長候補者リストに掲載を承諾した女性医師のほとんどが座長依頼に応じていることがわかる。Fig. 2C は座長を担当した領域に関する質問である。「自身の専門分野であった」が 29 名 (55.7%)、「専門分野と専門分野以外の両方であった」が 13 名 (25%)、「専門分野以外」が 8 名 (15.3%) であった。

Table 4 は、座長を経験した感想 (複数回答) である。「いい経験になった」が 44 名 (84.6%)、「楽しめた」が 21 名

Fig. 2A

5. 座長依頼は実際にきましたか。

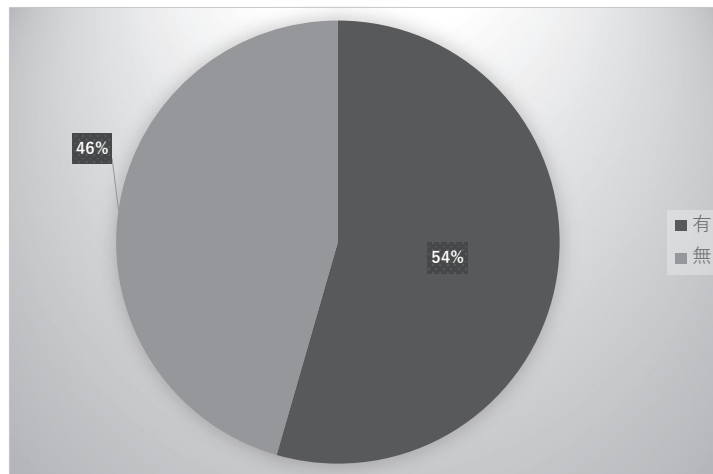
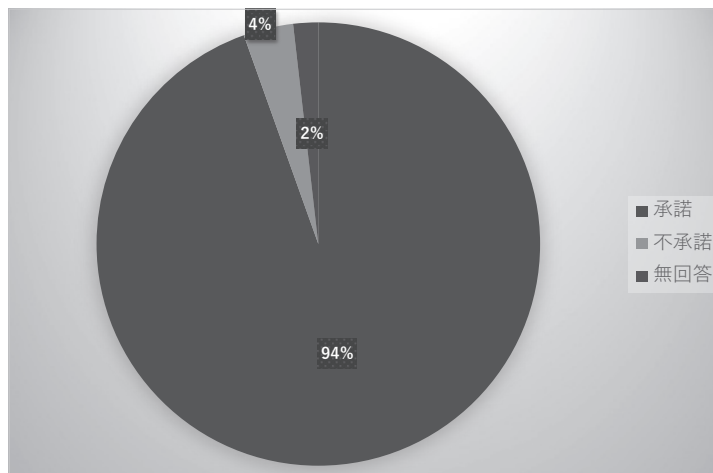


Fig. 2B

6. 5.で座長依頼が「きた」と答えた方に質問です。座長を引き受けましたか。



(40.4%), 「後悔した」が1名(1.9%)であった。多くの医師が座長経験を好意的に受け止めていた。座長依頼を断った理由(複数回答)は, 「日程が合わない」, 「専門分野以外の依頼であった」, 「実力が伴わない」, 「性別での優遇に困惑している」がそれぞれ1名であった。

Fig. 2C

7. 6.で座長を「引き受けた」と答えた方に質問です。そのセッションの分野は何でしたか。

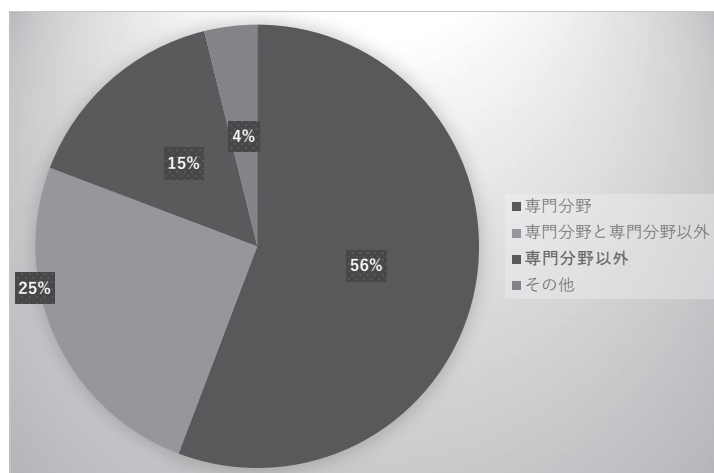


Table 4

8. 6.で座長を「引き受けた」と答えた方に質問です。座長を引き受けていかがでしたか。（複数選択可）

感想	回答者数 (%)
いい経験になった	44 (84.6)
楽しめた	22 (40.4)
後悔した	1 (1.9)
その他	8 (15.4)

その他

- ・より適任の方がいると思われる中で任務を全うできていたか心配になった
- ・やはり場違いだという気持ちからは逃れられなかった
- ・客観的に、お飾り感がすごいと思った
- ・座長の大変さを実感し、学会セッションに対する印象が変わった
- ・共同座長の先生や演者の先生と事前に打ち合わせができたので、当日は安心して担当のシンポジウムに臨めました
- ・通常業務と感じ、いつも通り学ぶ場となった
- ・問題なく終われてほっとした

3) 座長候補者リストについて

回答者の専門分野についての意見（複数回答）を Table 5 に示す。2021、2022 年のアンケート調査では、希望するサブスペシャルティ領域を第二希望まで質問したところ、女性泌尿器科、排尿機能・神経泌尿器科を選択する医師が多かった。

Table 5

10. 座長候補者リストの専門分野についてどう思われましたか。（複数選択可）

感想	回答者数 (%)
丁度良い、問題ない	34 (33.7)
覚えていない、わからない	17 (16.8)
選ぶ数が少ない	17 (16.8)
選ぶ数が多すぎる	14 (13.9)
細かすぎる	13 (12.9)
雑すぎる	4 (4)
その他	3 (3)

その他

- ・小カテゴリーがあっても良かったと思う
- ・女性医師の専門とする分野が重複しやすい

Table 6

11. 座長候補者リストは必要だと思いますか。（複数選択可）

回答	回答者数 (%)
必要	51 (50.5)
不要	11 (10.9)
男性にも施行すべき	57 (56.4)
わからない	4 (4)
その他	6 (5.9)

その他

- ・具体的にどのように使用されているか不明で回答できない
- ・高位職に女性が少ない現状では作成がやむを得なかったと思うが、今後数年で高位職の女性が増えると思われる。動向を注視しつつ判断する必要がある。
- ・はじめの3年間の取り組みで、女性座長数も増加している。依頼が同じ医師ばかりになってしまい、性別に関わらず、これから活躍する方々を引き上げていくことも必要
- ・リストに上がっていない方への働きかけ（依頼）も課題
- ・必要か不要かは、各大会長の判断になると思う
- ・やるのであれば、対象経験年の医師全員に行うべき

Table 7

12. 座長候補者リストの更新はどのくらいが適当だと思いますか。（複数選択可）

回答	回答者数 (%)
1年ごと	23 (22.8)
2年ごと	48 (47.5)
3年ごと	25 (24.8)
その他	11 (10.9)

その他

- ・半年ごと
- ・傾向がつかめるまでは毎年
- ・リストの認知度が上がったなら掲載されたい人のみ回答
- ・専門医・指導医の更新時に合わせて5年ごと
- ・新規指導医取得者を対象に毎年
- ・大会長の座長・演者の選定方法に従って、その都度対処
- ・病院を離れ指導医を維持できないが、座長は引き受けたい。指導医だけでなく専門医更新回数などで考慮してもらいたい。

た。2023年のアンケート調査では、より多くの女性が登用されることを目的として領域を更に細分化し、複数の回答を得られるようにした。その結果、「丁度よい」が34名（33.7%）、「アンケート項目を覚えていない」が17名（16.8%）、「選ぶ数が少ない」が17名（16.8%）、「選ぶ数が多すぎる」が14名（13.9%）、「細かすぎる」が13名（12.9%）、「雑過ぎる」が4名（4.0%）、「その他」が3名（3.0%）であった。

座長候補者リストの必要性に関するアンケート結果（複数回答）はTable 6である。「必要」と回答したのは51名（50.5%）、「不要」が11名（10.9%）、「男性にも施行すべき」が57名（56.4%）、「わからない」が4名（4.0%）、「その他」が6名（5.9%）であった。座長候補者リストの更新頻度に関するアンケート結果（複数回答）をTable 7に示す。適当と思われる更新頻度は「1年ごと」が23名（22.8%）、「2年ごと」が48名（47.5%）、「3年ごと」が25名（24.8%）、「その他」が11名（10.9%）であった。

Fig. 3

13. 座長の手引きがあれば使ってみたいと思いますか。

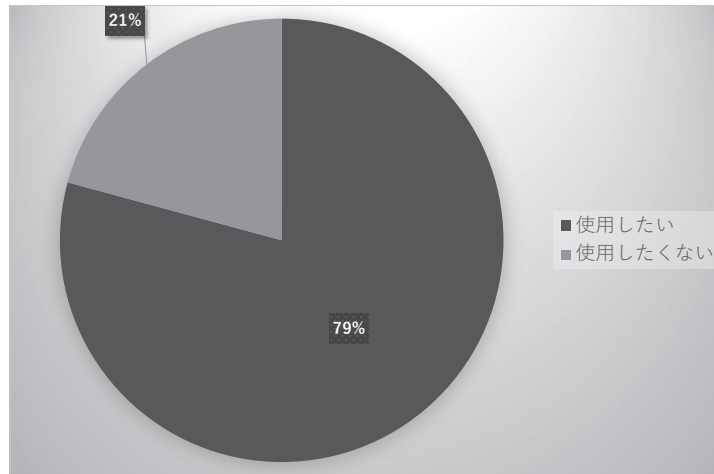


Table 8

14. どのような工夫があれば自分も座長を引き受けたいと思いますか. (複数選択可)

回答	回答者数 (%)
専門性を考慮してくれる	67 (66.3)
座長経験のある方と共同座長で行える	53 (52.5)
所属長へ学会側から依頼を行ってくれる	19 (18.8)
託児所の優先的な使用が可能となる	15 (14.9)
その他	16 (15.8)

その他

- ・工夫がなくても引き受けます (4名)
- ・未経験者の希望を考慮してあげてください
- ・ポスターセッションの座長からはじめたい
- ・専門医などの点数がもらえる
- ・子どもの突然の病気時にバックアップがある
- ・急にやれと言われてできるものではない. 学会での討議に参加, 小さな学会から座長経験をする等の教育が必要
- ・座長の大変さを実感し, 学会に対する印象が変わった
- ・多忙のため準備が大変なので引き受けたくない
- ・僻地の一人部長で学会参加そのものが大変

4) 女性座長数を増加させるための取り組みについて

2021年, 2022年の「女性座長候補者リスト登録希望」アンケートでは約6割の医師が登録に承諾いただいていたが, 約4割が不承諾であった. その理由として職場環境や家庭環境によるもの, ご自身の経験や能力不足が示されていた. 座長を引き受けるためのサポートとして, 座長マニュアルの必要性を問うアンケート結果がFig. 3である. 座長の手引きがあれば「使用したい」が80名(79.2%), 「使用したくない」が21名(20.8%)であった. また座長承諾に必要な工夫に関するアンケート(複数回答)(Table 8)では, 「専門性の考慮」が67名(66.3%), 「座長経験者との共同座長」が53名(52.5%), 「所属長への学会側からの依頼」が19名(18.8%), 「託児所の優先的な使用」が15名(14.9%), 「その他」は16名(15.8%)であった.

Table 9

15. 女性座長候補者リストについて、お考えのことを自由にご記載ください。

ポジティブ・アクションに賛成

- ・継続が必要
- ・学会主導で女性医師を増やさないと増えない
- ・ポジティブ・アクションにあたって、所属医局外の「学会メンター制度」みたいなのがあれば参加するかどうか、アンケートを取ってみればどうでしょうか。もちろんすでに、専門学会などで先輩の女性医師とつながっている人も多いでしょうが、ちょっと上世代の他大学のスタッフの先生と Zoom でも、座長のしかたを相談したり励ましてもらったりは、悪くない経験だと思う。

座長を引き受けてよかった

- ・またやりたい
- ・座長経験について考えるよい機会となった
- ・今後も学会へ貢献するために精進したい
- ・今後の若手の道を開くために引き受けた

今後のリストについて

- ・男性にも行うべき
- ・海外では、若い医師や研究者が座長を行うことも一般的。若い医師のリストが必要
- ・将来不要となることが学会の目標
- ・リストに頼らずとも、女性たちは活躍の場が広がった。今後、未来チャレンジ枠のように、女性に限らずやる気ある若手に経験を積んでもらうような機会を作してほしい。
- ・もっと女性座長の割合を増やすべき。
- ・どうしたら引き受けてもらえるか考える方がよい
- ・座長が大学関連の同じ先生になりがち。色々な施設や先生方の登用のためにも、性別に関わらず指導医以上の先生を対象とする。指導医更新の条件に座長経験を加える。
- ・泌尿器科指導医が病院を離れると更新が困難になるので、専門医更新何回以上などでも座長候補者リストに入れて欲しい。

座長の育成

- ・未経験者には経験者と組ませて共同座長とする
- ・なるべく専門分野で起用する
- ・座長の質が学会場での質疑応答の質にも直結するので、座長心得やマニュアルなどは整備が必要
- ・学会主催側が座長を選ぶ際に、ご本人の意向だけではなく、それまでのご研究や業績などを客観的に評価できる材料（過去の論文や発表演題など）があると良いと思います。
- ・ハンズオントレーニング、座長進行のロールプレイセミナー（オンサイトでも e-learning でも）
- ・リストを作成するのではなく、座長ができる女性医師が育つ環境を育てて欲しい。

今回のアンケートについて

- ・今回のアンケート結果も公表してほしい
- ・実名でのアンケートは不要

性別による優遇に不快感

- ・女性だからということに嫌悪感あり。
- ・出産など、生物学的に女性しか対応困難な事象は受け入れられますが、座長や役職など男女の問題でないことについては、性別ではない部分で評価を受けたい

その他

- ・ダイバーシティ推進委員の皆様へ感謝
- ・現在はワンオペ育児中で座長を引き受けるのは悩むが、その反面、女性医師復職支援などを含め、自身の経験を活かしていける場面があれば、積極的に参加していきたい

5) 自由記載について

女性座長候補者リストについてのお考えを40名の方からいただいた。内容をTable 9に示す。「ポジティブ・アクションに賛成する」、「座長を引き受けて良かった」、「学会や今後の若手の育成のために引き受けた」という好意的な意見をいただいた。また、今後の座長候補者リストについては、「男性や若手医師にも候補者リスト作成のためのアンケート調査が必要である」、「女性座長比率をもっと増加させる方がよい」、「未回答や不承諾の先生方への働きかけを考えたほうが良い」、「指導医以上を対象としたり、指導医更新の条件に座長経験を入れたりしてはどうか」などの意見があった。今後の座長育成のためにマニュアルの整備や座長進行のロールプレイセミナーを開催することなどのご提案もいただいた。「性別による優遇を受けたくない」というご意見もあったが、座長の登用だけではなく、女性医師の復職支援や女性医師を育てる環境作りに対する要望もあった。

考察

近年国際的に社会のあらゆる分野で「Manel」と呼ばれる男性だけに偏るパネルを認めない傾向が強まっており、改善が試みられるようになった¹⁾。多様性や包括性の欠如により、視点が制限されて誤ったメッセージが出席者に伝わってしまうリスクがあること、若い世代に対して主催者が多様性を重要視していないというメッセージになること、女性に機会を与えないことで女性のキャリア形成が阻まれる可能性があることが問題である。また、多様性がもたらす様々な意見やより良いアイデア、イノベーションがより強力な学術会議をもたらすことの重要性が認識されてきている。性別による優遇を受けたくない、というご意見は女性座長候補者リスト作成のためのアンケート調査を開始した時からいただいているが、日本泌尿器科学会の女性会員数は増加しているものの未だ全体の9%であり、20～30歳代の世代が多く、

座長に指名される機会は少ない。「Manel」を避ける方法として、マネルに注意を喚起するソーシャルネットワークの利用や女性スピーカーの候補者データベースの作成が報告されている²⁾。ポジティブ・アクションによる女性医師の登用により、本学会の多様性が更に推進されると期待できる。

2021年からダイバーシティ推進委員会が「女性座長候補者リスト」を作成し、活用を各大会長にご依頼したことで目標としていた女性座長率3%以上は達成した。しかしながら、女性座長比率は女性会員比率よりも少なく、今後も座長候補者リストの継続を予定している。対象者を若手医師や男性医師へも広げることの意義や更新の頻度、登録内容などについては更に検討する必要がある。日本循環器学会女性循環器医コンソーシアムが作成した「初めての学会座長の手引き」は、座長経験者の93.9%がその存在を知っており、性別や年齢、座長経験の有無にかかわらず有用なものであることが報告されている³⁾。本委員会でも、座長を担当する際のサポートとなる座長マニュアルの作成やセミナー開催などを検討している。今後も女性医師のみならず、多様な学会員の方々が活躍できる機会が増えることを目標に本委員会は活動を継続していく予定である。

謝辞

アンケート調査の実施を快諾いただいた理事会の皆様、アンケート調査にご協力いただいた回答者の皆様、実施に際してご協力いただきました日本泌尿器科学会事務局の永見慶子様にご心よりお礼申し上げます。

参考文献

- 1) Melina RK. and Muneera RK. : Underrepresentation of Women at Academic Medical Conferences- “Manels” Must Stop. JAMA Network Open. 3 (9), e2018676
- 2) Teoh JYC, Castellani D, Mercader C, Sierra A, Heldwein FL, Chan EOT, Wroclawski ML, Sapulveda F, Cacciamani GE, Rivas JG, Murphy DG, van Oort IM, Loeb S, Ribal MJ. : A Quantitative analysis investigating the prevalence of “manels” in major urology meetings. Eur Urol. 80 : 450—453, 2021e4—e6, 2019
- 3) Fukue N, Ishida M, Taniyama M, Mukai-Yatagai N, Sakamoto T, Tamada T, Suetomi T, Tanabe K, Nakano Y. : Factors Influencing Acceptance of the Chairperson Position at Annual Scientific Meetings of the Japanese Circulation Society—A Questionnaire Survey in Chugoku District— Circ Rep. 5 (6) 260—264, 2023

補足資料 1

女性座長候補者リスト作成後調査

日本泌尿器科学会ダイバーシティ推進委員会では、女性医師の登用を目的として、2021年から2023年の3月に「女性座長候補者リスト登録希望」アンケートを作成し、各年の2月末時点でメールアドレスを登録している指導医資格を有する女性会員に対しアンケートを送付しました。アンケート結果から女性座長候補者リストを作成し、総会および地区総会の会長に提出しております。その結果、2022年の地区総会以降は、すべての大会で女性座長の登用率3%以上という目標を達成することができました。今回は、アンケートをお送りした先生方に作成後調査をお願いしたくメールをお送りしております。今後もリスト作成を継続するか、どのような形式で継続するかの参考にさせていただく予定です。ご多忙の折、大変お手数ですがご協力お願いします。質問は15、回答予想時間は5分程度です。

メールアドレス *記述 必須

お名前 *記述 必須

1. 女性座長候補者リストへの掲載への承諾はどう回答されましたか。*ラジオボタンでいずれか1つ選択 必須

- (1) すべて諾
- (2) 拒否していたが承諾に変更した
- (3) 承諾していたが拒否に変更した
- (4) すべて拒否
- (5) 回答しなかった

2. 1. で (2), (3), (4) と答えた方に質問です。
拒否の理由はどのようなものでしたか。(複数選択可)

- ☐ 実力が伴わないと思った
- ☐ 経験がない, 経験不足
- ☐ 性別による優遇を受けたくなかった
- ☐ 学会参加に興味がなかった
- ☐ 多忙だった
- ☐ その他 ()

3. 1. で (5) と答えた方に質問です。
回答しなかった理由はどのようなものでしたか。(複数選択可)

- ☐ アンケートに気付かなかった
- ☐ アンケートに回答するのを忘れていた
- ☐ 経験がない, 経験不足
- ☐ 性別による優遇を受けたくなかった
- ☐ 学会参加に興味がなかった
- ☐ 多忙だった
- ☐ その他 ()

4. 1. で (1), (2), (3) と答えた方に質問です。
承諾した理由はどのようなものでしたか。(複数選択可)

- ☐ ポジティブ・アクションに賛成
- ☐ 経験値を上げたかった
- ☐ 当然の実力を備えていると思った
- ☐ 女性座長が増えてきて、それなら自分もできるのではと考えた
- ☐ 周囲から勧められた
- ☐ その他 ()

5. 座長依頼は実際にきましたか。*ラジオボタンでいずれか1つ選択 必須

- ☐ きた
- ☐ こなかった

6. 5. で座長依頼が「きた」と答えた方に質問です。座長を引き受けましたか。*ラジオボタンでいずれか1つ選択

- ☐ 引き受けた
- ☐ 断った

7. 6. で座長を「引き受けた」と答えた方に質問です。
そのセッションの分野はなんでしたか。(複数選択可)

- ☐ 専門分野
- ☐ 専門分野以外
- ☐ その他 ()

8. 6. で座長を「引き受けた」と答えた方に質問です。
座長を引き受けていかがでしたか。(複数選択可)

- ☐ いい経験になった
- ☐ 楽しめた
- ☐ 誹謗中傷があった
- ☐ いやな経験になった
- ☐ 後悔した
- ☐ その他 ()

9. 6. で座長を「断った」と答えた方に質問です。
座長依頼を断った理由はどのようなものでしたか。(複数選択可)

- ☐ 日程が合わなかった
- ☐ 専門分野以外の依頼だった
- ☐ 職場の事情
- ☐ 家庭の事情
- ☐ その他 ()

次の質問からは、すべての方が対象です。

10. 座長候補者リストの専門分野についてどう思われましたか。(複数選択可 必須)

- ☐ 細かすぎる
- ☐ 雑すぎる
- ☐ 選ぶ数が少ない
- ☐ 選ぶ数が多い
- ☐ その他 ()

11. 座長候補者リストは必要だと思いますか。(複数選択可 必須)

- ☐ 必要
- ☐ 不要
- ☐ 男性にも施行すべき
- ☐ その他 ()

12. 座長候補者リストの更新はどのくらいが適当だと思いますか。(複数選択可 必須)

- ☐ 1年ごと
- ☐ 2年ごと
- ☐ 3年ごと
- ☐ その他 ()

13. 座長の手引きがあれば使ってみたいと思いますか。*ラジオボタンでいずれか1つ選択 必須

- ☐ はい
- ☐ いいえ

14. どのような工夫があれば自分も座長を引き受けたいと思いますか？(複数選択可 必須)

- ☐ 専門性を考慮してくれる
- ☐ 座長経験のある方と共同座長で行える
- ☐ 託児所の優先的な使用が可能となる
- ☐ 所属長へ学会側から依頼を行ってくれる

☐ その他（ ）

15. 女性座長候補者リストについて、お考えのことを自由にご記載下さい。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。